2016 年度（平成28 年度）

新シニア育成講座
開講の募集について（9月募集開始分）

募集概要（各科目共通事項）

受講資格	産業カウンセラー資格を有し、学びを継続しながら今後産業カウンセラーとして実践活動することを目指し能力向上に意欲を持って取り組める者。 協会に資格登録をしている会員であること。
募集期間	2016 年 9 月 20 日（火）～ 2016 年 10 月 2 日（日） ※先着順ではありません。応募者多数の場合は抽選となります。 ※定員に満たない場合は募集期間を延長します。 　延長は協会本部ホームページの記載の確認もしくはお問い合わせください。
申込方法	①会員マイページから、またはメールでの申し込みとなります。 　郵送・FAX での申し込みは原則として受け付けません。 　申込先は開催を主催する本部または支部になります。 　なお申込書式は協会ホームページからダウンロードしてください。 　http://www.counselor.or.jp/course/tabid/138/Default.aspx ②受講確認メールを受信後に、振込先へ受講料を振り込んでください。 ③受講料の入金を確認した時点で申し込み完了メールを発信し、受講が確定します。
申込先	講座によって申込先が違いますので各科目の申込先をご覧ください。
振込先	受講確認メールに記載されます。ただし講座によっては振込先通知前に、再度受講の条件について了承の確認をさせていただく場合があります。
キャンセル	受講料入金確認をもって受講申込み完了となります。キャンセルについては 3 月号別冊②もしくは協会本部ホームページに掲載している新シニア育成講座の受講約款をご参照ください。 なお、キャンセル・欠席された場合、講座当日以降に配布されるレジュメ・資料の配付はございません。
受講条件	次の条件に満たない場合は受講をお断りする場合があります。 ・協会とメールの送受信ができること。 　レポート等のやりとりのため、データファイルの送受信可能なアドレスをご用意ください。 　（ケータイ・スマホのみは不可） ・期日までに受講申込みおよび入金が完了されていること。 ・事前学習で必須に指定されている図書については読了していること。 ・事前課題（設定科目の場合）の作業が講座の開始前に指定どおり完了していること。 ・守秘義務に関する誓約書に署名し受講前に提出していること。
修了認定条件	新シニア育成講座では各科目とも、実習・グループ討議を非常に重要視していますので、全日程・全時間の連続した出席が必須となります。 事前課題について期日までの事前提出もしくは当日の持参（設定科目の場合）、講座への連続した全時間の出席、講座の到達目標の修得、修了レポートの完了をもって修了となります。 前述の条件を満たさない場合、または講師による最終的な評価が一定の基準に達していない場合は未修了となります。 その場合、当該科目の単位取得のためには再受講が必要になります。

守秘義務の遵守について	新シニア育成講座では実習やグループ討議において受講者の自己開示がなされたり実際のケースを扱う場合があり、その内容を講座外で公表することは禁止します。また各科目の講座内容はすべて日本産業カウンセラー協会の著作物であり、写真撮影、録画、録音および WEB、SNS、Facebook、Twitter 等への記載・転載、さらに二次利用は禁止します。安全な場を確保するため、守秘義務に関する誓約書に署名捺印の上、ご提出いただきます。 なお受講時に許可無く撮影、録音された場合は、記録媒体を回収の上で直ちにご退出いただき、当該科目は未修了となります。
その他	すでにシニア産業カウンセラー資格をお持ちの方でも受講は可能です。 ご不明な点は協会本部 育成・研修部・シニア講座担当者（電話：03-3438-4568）までお問い合わせください。
資格登録制度	1 日 6 時間の科目については、出席 1 日あたり 5 ポイント、6 時間を超える科目は 7 ポイントが付与されます。

東北支部開催分（東北支部へお申し込みください）

募集概要（1）

講座名	科目№ 12：セルフキャリア開発
講師	石川 邦子（当協会認定講師）
時間数／単位数	6 時間（グループ討議 2、演習 4）（自学習 3 時間程度）／ 1 単位
日時・場所	2016 年 11 月 23 日（水・祝）・1 日間 東北支部研修室（仙台市青葉区本町 2-6-15 チコウビル 5 階） 9:30 開場、10:00 開始、17:00 終了（昼食 1 時間）
定員・費用	18 名（最少催行人数：10 名） 16,200 円（税込）
申込先	東北支部（sankakyo@crux.ocn.ne.jp）
講座概要および目的	シニア産業カウンセラーとして、クライエントが人生を創造していくことを支援する者として信頼されるためには、カウンセラー自身が自己のキャリアに関心を持ち、主体的にキャリアを築いている必要がある。このため、自分自身の人生を肯定的に振り返り、将来に興味・関心を持って適応していく力を身につけることを目的とする。 この講座では､他者のキャリア開発をモデルに自分自身のキャリアをイメージする。指定事例(自営、企業内カウンセラー、経営管理者、人事労務担当、地域などの活動の事例）についてグループで討議する。 次に自分自身の経験を振り返り肯定的に再確認したうえで、現状の環境と自身のリソースを確認して、その中でどのように今後のキャリアを築いていくかを計画する。
到達目標	他者のキャリア開発モデルの中から、自身のロールモデルになる部分を見出し、自分の過去を肯定的に受け入れ、現在の自己の CAN・WHATS・NEEDS を整理して、今後のキャリアをデザインしていくことを到達目標とする。自分自身のキャリアビジョンを明確に持つことで、他者のキャリア支援ができる土台を築くことを到達目標とする。
事前学習	1．別途指定する課題図書を読了する。 2．別途指定するキャリア開発事例を読了する。 3．自身の周囲にいる産業カウンセラーとして仕事に従事している方に依頼をしてキャリアインタビューを実施し、まとめる。 4．配布するシートに自身のこれまでのキャリアをまとめる。
修了条件	1．事前課題を行い、当日持参する。 2．修了レポート　講座終了時に出題される 2 つのテーマについてそれぞれ 1500 字程度にまとめ、指定日までに提出する。
その他	科目 No.9「キャリア開発領域の事例検討および実習」の受講前にこちらを先に受講しておくことを強く推奨します。 キャリアデザイン及びキャリア支援に興味があり、基礎的な知識を有する方を対象とします。

東京支部開催分（東京支部へお申し込みください）

募集概要（2）

講座名	科目№８：危機介入等の実践的理解
講師	廣川 進（大正大学心理社会学部臨床心理学科 教授）
時間数／単位数	6 時間（講義 3、グループ討議 3）（自学習 3 時間程度）／ 1 単位
日時・場所	2016 年 11 月 19 日（土）・1 日間 東京支部 代々木教室（渋谷区千駄ヶ谷 4-2-12 菱化代々木ビル 5F） 9:30 開場、10:00 開始、17:00 終了（昼食 1 時間）
定員・費用	30 名（最少催行人数：10 名） 16,200 円（税込）
申込先	WEB 申し込みにて会員マイページよりお申し込みください。
講座概要および目的	災害、事故、自殺などの事案が発生した時の個人と組織の心理的プロセスとケアの方法など危機介入についての基本的な理解と行動を学ぶことを目的とする。 ・講義：産業場面での危機介入等についての概論 自殺念慮、PTSD、惨事ストレス、災害時ストレス、喪失悲嘆（グリーフ）の発生機序と対応理論、方法を解説する。 ・討議：産業場面で見られる危機介入・対応事例の検討、具体的事例について討議、質疑応答を行う。
到達目標	危機介入が必要な事案について、構造的理解にもとづき具体的な支援活動ができるようになる。
事前学習	1．別途指定する課題図書を読んで危機介入についての概略を理解しておく。 2．別途指定する課題図書（絵本）を読んで「喪失と悲嘆のプロセス」について考えておく。（レポート作成は不要）
修了条件	1．事前課題について、当日までに考えてくる。 2．修了レポート　講座終了時に出題されるテーマについて 2000 字程度にまとめ、指定日までに提出する。
その他	参考として下記の文献をホームページで確認しておくことが望ましい。 ・災害時の「こころのケア」の手引き（東京都福祉保健局） ・職場における災害時のこころのケアマニュアル（労働者健康福祉機構） ・災害時のこころのケア　日本赤十字社

募集概要（3）

講座名	科目№６：臨床精神医学・心身医学の実務
講師	大西 守（日本精神保健福祉連盟常務理事、精神科医）
時間数／単位数	6 時間（講義 4、事例検討 2）（自学習 3 時間程度）／ 1 単位
日時・場所	2016 年 12 月 17 日（土）・1 日間 東京支部 代々木教室（渋谷区千駄ヶ谷 4-2-12 菱化代々木ビル 4F） 9:30 開場、10:00 開始、17:00 終了（昼食 1 時間）
定員・費用	18 名（最少催行人数：10 名） 16,200 円（税込）
申込先	WEB 申し込みにて会員マイページよりお申し込みください。
講座概要および目的	精神疾患・障害に関する一定知識の習得と、リファー先となる精神科・心療内科の実情を知る。また、産業医・産業看護職・人事労務担当者と連携しながら、主治医との連絡調整を行う役割も担えるようにする。 実際の精神医学的・心身医学的な視点からの理解、事例を通してケースマネジメントの具体的な進め方を身につける。 さらに、産業保健総合支援センター、ハローワーク（障害者窓口）など地域に存在する関連各種機関（※）に関して、実際に見学に訪れるなどの実践行動力を評価に加える。
到達目標	産業カウンセリングの限界を理解し、病理性・疾病性が疑われるケースに対する組織内での支援体制の構築、医療機関へのリファーとその後の連絡調整、復職支援などに関して実践的な対応能力の獲得。

事前学習	1．別途指定する課題図書を読了すること。 2．受講希望者の地元もしくは勤務先の地域における産業保健総合支援センターなどの精神医療に関連する機関を「実際に」訪問し、各施設の機能と特徴を学び、2000 文字以上の調査報告書としてまとめる。インターネットのみの情報収集などではなく、具体的な訪問・調査により実践的に行動する。
修了条件	1．事前課題を行って調査報告書をまとめ、事前に指定した期日までに提出する。 2．修了レポート　講座終了時に出題されるテーマについて 3000 字程度にまとめ、指定日までに提出する。
その他	「こころの耳ポータルサイト」を閲覧しておくこと。 （※）関連各種機関とはそれぞれの地域に存在する産業保健総合支援センター、精神保健福祉センター、障害者職業センター、ハローワーク（障害者窓口）などを指す。

神奈川支部開催分（神奈川支部へお申し込みください）

募集概要（4）

講座名	科目№ 19：教育研修指導法の実践的理解
講師	小野村 英敏（株式会社アイティ・アシスト 代表取締役会長）
時間数／単位数	6 時間（講義 2、グループ討議 0.5、実習 3.5）（自学習 3 時間程度）／ 1 単位
日時・場所	2016 年 11 月 19 日（土）・1 日間 神奈川支部研修室（横浜市中区桜木町 3-8 横浜塩業ビル） 9:30 開場、10:00 開始、17:00 終了（昼食 1 時間）
定員・費用	18 名　16,200 円（税込）
申込先	WEB 申し込みにて会員マイページよりお申し込みください。
講座概要および目的	産業カウンセラーは企業内、組織内において、さまざまな形での教育･研修等を実施することになる。効果的な教育・研修のためには、教育・研修の目的、推進方法、教育指導の流れ、教育マテリアルの作成方法と注意点、効果的なプレゼンテーション、そして評価方法に熟知する必要がある。この講座では、それらに関する一連の知識と基本的な考え、態度、注意点を習得する。
到達目標	企業・組織内で実施される教育・研修に必要となる教育・研修の具体的なノウハウを獲得する。特に教育・研修の目的を明示した上での教育・研修の推進方法、教育指導の流れを理解し、効果的な教育マテリアルの作成と教育・研修の実施、並びにその評価方法を習得する。
事前学習	別途指定するテキスト等を参照しながら、講座で使用する「プレゼンテーション資料」（10 ページ程度）を作成する。プレゼンのテーマは別途指定する。
修了条件	1．受講 1 週間前までに「プレゼンテーション資料」を提出する。 2．講座終了後「プレゼンテーション資料」を見直して修正したものを提出する。 3．修了レポート　講座終了時に出題されるテーマについて 3000 字程度にまとめ、指定日までに提出する。
その他	企業・組織内で実施される教育を受講したことがあり、現在の企業・組織での教育のあり方に疑問や改善案を持っていることが望ましい。

関西支部開催分（関西支部へお申し込みください）

募集概要（5）

講座名	科目№ 2：アサーション
講師	上田 敬（株式会社 CDP サポート 代表）
時間数／単位数	6 時間（講義 3、グループ討議 3）（自学習 3 時間程度）／ 1 単位
日時・場所	2016 年 11 月 3 日（木・祝）・1 日間 関西支部研修センター（大阪市中央区本町 1-4-8 エスリードビル本町 8 階）9:30 開場、10:00 開始、17:00 終了（昼食 1 時間）

定員・費用	30 名（最少催行人数：10 名） 16,200 円（税込）
申込先	WEB 申し込み、または関西支部（jimukyoku2@jica-kansai.jp）
講座概要および目的	講座での学習は以下の 3 点を学ぶことを目的とする。 1．アサーションの概要を知る。 2．産業カウンセラーとして、自分の自己表現についての理解を深める。 3．産業カウンセラーとして、アサーションをどのように活かすかの指針を得ることで、今後の継続学習に活かす。
到達目標	自分の自己表現をアサーションの一論の枠組みで理解し、クライエントの支援に活かすことが出来るようになる。
事前学習	1．別途指定する課題図書を読んでアサーションの概要を理解しておくこと。 2．上記を理解した上で、自分の仕事やカウンセリング場面での非主張的表現、攻撃的表現の事例を作成すること。以下の 2 項目を配布したシートに記入し講座に持参する。 ・場面や状況、及び自分が行った表現内容（せりふ） ・その時の自分の心理（気持ち、考え）
修了条件	1．事前課題を当日提出する。 2．修了レポート 講座終了時に出題されるテーマについて 2000 字程度にまとめ、指定日までに提出する。 3．参加態度：グループ学習でのアサーティブな態度・自己表現 リーダーシップとフォロワーシップ（適切な役割行動）

募集概要（6）

講座名	科目№ 14：コミュニティ・アプローチ （ コミュニティ心理学的心理援助の実際 ）
講師	原 裕視（目白大学 人間学部 心理カウンセリング学科 教授）
時間数／単位数	6 時間（講義 2、グループワーク 4）（自学習 3 時間程度）／ 1 単位
日時・場所	2016 年 11 月 12 日（土）・1 日間 関西支部研修センター（大阪市中央区本町 1-4-8 エスリードビル本町 8 階）9:30 開場、10:00 開始、17:00 終了（昼食 1 時間）
定員・費用	24 名（最少催行人数：12 名） 16,200 円（税込）
申込先	WEB 申し込み、または関西支部（jimukyoku2@jica-kansai.jp）
講座概要および目的	心理援助の専門家・ファシリテーター・コーディネーターとして活動する受講者が、個人心理臨床的アプローチから環境との適合性の調節、さらにはシステムへの介入へと専門性の枠を拡げようとする時、重要となる考え方や方法・手段などを理解し、講義とグループによる事例検討を通じて、実践的な事例対応能力をつけることを目的とする。 講義の後、グループに分かれて事例検討を行い、アセスメント、方略の策定、介入計画の作成などを行うことにより実践的な理解を深める。 各グループで作成した介入計画を発表し、質疑、討論を通じて更に理解を深め、相互に評価も行う。
到達目標	Person in Context、すなわちコミュニティの中で生き、生活している存在としての（文脈内存在としての）人間の理解、およびそこで直面する問題（病理、困難、解決課題、発達成長 etc.）の理解と援助を提供するために必要な発想、概念、方法を学び、効果的な介入計画が立てられるようになることを目標とする。
事前学習	1．別途指定する課題図書を読了すること。 2．課題図書の内容を踏まえ、指定されたテーマについて A4 用紙、2000 文字程度でレポートにまとめ、事前に指定した期日までに提出すること。 3．指定されたテーマで事例をまとめて事前に提出すること。 ※指定期日までに事前提出できない場合、講座に参加いただくことは可能ですが未修了となります。

修了条件	1．事前課題の提出 2．グループワークのアウトプットの出来栄えと、プロセスでの参画の度合いや貢献度を評価する。 3．修了レポート　講座終了時に出題されるテーマについて 3000 字程度にまとめ、指定日までに提出する。
その他	個人心理臨床（カウンセリング、心理療法）の経験があることが望ましい。

中国支部開催分（中国支部へお申し込みください）

募集概要（7）

講座名	科目№.4：ゲシュタルト療法
講師	岡田 法悦（ゲシュタルト・インスティテュート株式会社 代表）
時間数／単位数	6 時間（講義 1.5、グループ討議 4.5）（自学習 3 時間程度）／ 1 単位
日時・場所	2016 年 11 月 23 日（水・祝）・1 日間 岡山みのるガーデン（岡山市北区柳町 1 丁目 4-8） ※会場は調整中のため変更の場合があります。 9:30 開場、10:00 開始、17:00 終了（昼食 1 時間）
定員・費用	18 名（最少催行人数：10 名）　16,200 円（税込）
申込先	WEB 申し込みにて会員マイページよりお申し込みください。
講座概要および目的	人は、心の中に不一致を抱えたり自分の一部を抑圧したりすることで、葛藤や悩み、心の不調を起こす。産業カウンセラーが心の健康の維持向上を支援したり、仕事上の葛藤や心の不調を感じる人と関わるとき、「今・ここ」の自分の中で起きていることにクライエント自身が気づき、不一致を統合し、抑圧しているエネルギーを自分に役立つ方向に活性化できるように寄りそうことが大切である。 ゲシュタルト療法の特徴は、①言葉だけでなく、顔の表情、身体の動き、声の表情など全身で表現される心の動きを受けとめる、②エンプティーチェアを使うなどしてクライエントの自己内対話を促進する、③気づきを促す実験を提案する、などである。ビデオ「グロリアと 3 人のセラピスト」に映る F･パールズの方法を超越し発展した現代ゲシュタルトセラピーは、現象学、我－汝の関係、場の理論、変容の逆説的な理論を基礎に置く。 ファシリテーターは、クライエントを誘導してワークを展開させようとせず、予見した方向に導く意図や目的を持たず、クライエントが「今・ここ」で体験している感情・感覚を本人が体験しつくし、自然な変化が起きる場に寄りそう姿勢を保つ。 本講座では、これらの基礎理論とファシリテーターの姿勢が実践にどう現れるかを体験的に学び、それを現場のカウンセリングに活かす在り方を学ぶことを目的とする。
到達目標	1．自分自身の中で起きていることに気づく感度を高める。 2．産業カウンセラーとして、一人の人を全人的に受けとめ、本人の選択を最大限尊重し、自発的な自己成長を促進する関係づくり、場づくりを体現できるようになることを目指す。
事前学習	別途指定する課題図書を読んで概要を理解しておく。
修了条件	1．修了レポート　講座終了時に出題される 2 つのテーマについてそれぞれ 1000 字程度にまとめ、指定日までに提出する。 2．参加態度
その他	ワークにおける発言内容の守秘義務を負うことになるので、その点を了承し参加すること。

四国支部開催分（四国支部へお申し込みください）

募集概要（8）

講座名	科目№.21：働きやすい職場づくりの実践的理解
講師	峯村 隆久（株式会社セフィーロ代表取締役社長 GI コンサルタント）
時間数／単位数	12 時間（講義 5、討議・演習 7）（自学習 3 時間程度）／ 2 単位

日時・場所	2016 年 11 月 5 日（土）、6 日（日）・2 日間 四国支部研修室（松山市味酒町 1-3 四国ガス第 3 ビル 7 階） 9:30 開場、10:00 開始、17:00 終了（昼食 1 時間）
定員・費用	18 名（最少催行人数：10 名） 31,320 円（税込）
申込先	WEB 申し込み、または四国支部（shikoku@counselor.or.jp）
講座概要および目的	産業カウンセラーにとって、企業団体へのコンサルテーションは今後更に重要性を増す。メンタルヘルスの改善のみならず、モチベーション、モラール、リーダーシップ、チームワーク、コミュニケーション等の向上、いじめやハラスメント防止、WLB の実現によるヘルシーカンパニーづくりのための企業管理運営体制と文化・風土の確立を支援する重要な役割を期待されている。その役割を果たすための実践的なスキルを、講義、グループ討議、個人演習を通して習得する。
到達目標	1．組織に働きかける際の産業カウンセラーのスタンスの関わり方やスタンスを理解する。 2．職場をマネジメントする立場である管理者が自らのマネジメントを改革する必要があると自覚させ、本気になるように導ける。 3．「働きやすい職場」を実現するための理論・手法を正しく理解し、それを管理者に伝えながら、組織のマネジメント変革を支援・推進できる。
事前学習	1．別途指定する課題図書を読了すること。 2．課題図書の内容を踏まえ、その感想文を A4 用紙、1200 文字程度でレポートにまとめ、事前に指定した期日までに提出すること。 ※指定期日までに事前提出できない場合、講座に参加いただくことは可能ですが未修了となります。
修了条件	1．事前課題の提出 2．修了レポート　演習で作成する改革プランを見直し、可能であれば職場の管理者と相談してレベルアップを図ったものを、指定日までに提出する。
その他	ご自身の関わる職場という「組織」の問題点を意識していて、その改善・改革に興味と意欲がある人が望ましい。

九州支部開催分（九州支部へお申し込みください）

募集概要（9）

講座名	科目№.4：ゲシュタルト療法
講師	岡田 法悦（ゲシュタルト・インスティテュート株式会社 代表）
時間数／単位数	6 時間（講義 1.5、グループ討議 4.5）（自学習 3 時間程度）／ 1 単位
日時・場所	2016 年 11 月 3 日（木・祝）・1 日間 九州支部会議室 （福岡市博多区博多駅南 1-2-15　事務機ビル 6 階） 9:30 開場、10:00 開始、17:00 終了（昼食 1 時間）
定員・費用	18 名（最少催行人数：10 名） 16,200 円（税込）
申込先	WEB 申し込み、または九州支部（kyusyu@counselor.or.jp）
講座概要および目的	人は、心の中に不一致を抱えたり自分の一部を抑圧したりすることで、葛藤や悩み、心の不調を起こす。産業カウンセラーが心の健康の維持向上を支援したり、仕事上の葛藤や心の不調を感じる人と関わるとき、「今・ここ」の自分の中で起きていることにクライエント自身が気づき、不一致を統合し、抑圧しているエネルギーを自分に役立つ方向に活性化できるように寄りそうことが大切である。 ゲシュタルト療法の特徴は、①言葉だけでなく、顔の表情、身体の動き、声の表情など全身で表現される心の動きを受けとめる、②エンプティーチェアを使うなどしてクライエントの自己内対話を促進する、③気づきを促す実験を提案する、などである。ビデオ「グロリアと 3 人のセラピスト」に映る F･パールズの方法を超越し発展した現代ゲシュタルトセラピーは、現象学、我－汝の関係、場の理論、変容の逆説的な理論を基礎に置く。 ファシリテーターは、クライエントを誘導してワークを展開させようとせず、予見した方向に導く意図や目的を持たず、クライエントが「今・ここ」で体験している感情・感覚を本人が体験しつくし、自然な変化が起きる場に寄りそう姿勢を保つ。 本講座では、これらの基礎理論とファシリテーターの姿勢が実践にどう現れるかを体験的に学び、それを現場のカウンセリングに活かす在り方を学ぶことを目的とする。

到達目標	1．自分自身の中で起きていることに気づく感度を高める。 2．産業カウンセラーとして、一人の人を全人的に受けとめ、本人の選択を最大限尊重し、自発的な自己成長を促進する関係づくり、場づくりを体現できるようになることを目指す。
事前学習	別途指定する課題図書を読んで概要を理解しておく。
修了条件	1．修了レポート　講座終了時に出題される２つのテーマについてそれぞれ 1000 字程度にまとめ、指定日までに提出する。 2．参加態度
その他	ワークにおける発言内容の守秘義務を負うことになるので、その点を了承し参加すること

募集概要（10）

講座名	科目№８：危機介入等の実践的理解
講師	廣川 進（大正大学心理社会学部臨床心理学科 教授）
時間数／単位数	6 時間（講義 3、グループ討議 3）（自学習 3 時間程度）／ 1 単位
日時・場所	2016 年 11 月 5 日（土）・1 日間 事務機ビル 7 階会議室（福岡市博多区博多駅南 1-2-15） 9:30 開場、10:00 開始、17:00 終了（昼食 1 時間）
定員・費用	24 名（最少催行人数：10 名）　16,200 円（税込）
申込先	WEB 申し込み、または九州支部（kyusyu@counselor.or.jp）
講座概要および目的	災害、事故、自殺などの事案が発生した時の個人と組織の心理的プロセスとケアの方法など危機介入についての基本的な理解と行動を学ぶことを目的とする。 ・講義：産業場面での危機介入等についての概論 自殺念慮、PTSD、惨事ストレス、災害時ストレス、喪失悲嘆（グリーフ）の発生機序と対応理論、方法を解説する。 ・討議：産業場面で見られる危機介入・対応事例の検討、具体的事例について討議、質疑応答を行う。
到達目標	危機介入が必要な事案について、構造的理解にもとづき具体的な支援活動ができるようになる。
事前学習	1．別途指定する課題図書を読んで危機介入についての概略を理解しておく。 2．別途指定する課題図書（絵本）を読んで「喪失と悲嘆のプロセス」について考えておく。（レポート作成は不要）
修了条件	1．事前課題について、当日までに考えてくる。 2．修了レポート　講座終了時に出題されるテーマについて 2000 字程度にまとめ、指定日までに提出する。
その他	参考として下記の文献をホームページで確認しておくことが望ましい。 ・災害時の「こころのケア」の手引き（東京都福祉保健局） ・職場における災害時のこころのケアマニュアル（労働者健康福祉機構） ・災害時のこころのケア　日本赤十字社

以上